

新★見聞記

プラネットくんの



「大阪の食い倒れ」という言葉があるように、「食」が有名な大阪。近年はインバウンド需要が好調で、ドラッグストアの出店が相次ぎ、百貨店の売り上げも他の地域より大きく伸びています。今回は、創業110周年を迎えたビップ株式会社 藤木部長、大阪に本社を構える有限会社日本商業新聞社 福瀬社長、株式会社石饅新報社 近藤次長にご登場いただき、「買う・食べる」という観点から、大阪の魅力をご紹介します。

※本記事における数値は、原稿作成時点で確認できた関係機関の発表に基づいています。

(イラスト：松島むう)



黒門市場

江戸時代に「天下の台所」と呼ばれた大阪。その大阪の台所「黒門市場」は、今や海外からの観光客に人気のスポットになっている。
もともとは近隣の飲食店や住民が買い付けに来る市場だったが、最近では外国人観光客向けの食べ歩きできる商品も豊富。神戸牛も、串焼きにして、持ち歩きが楽になっている。歩きながら箸でカニやイセエビを食べる器用な人も!

大阪 食べる 買う

早春の頃はいちご編
いちご

冬場は店頭で「てっちり」を食われる店も。お客さんは台湾、香港、中国、韓国の方が圧倒的に多い。

アジア圏の食べ歩き文化がすっかり定着している感じだねー

食べたもん!!

大阪を代表する敏尔華街は「キタ」と「ミナミ」の両方に、ギョウキョウといろんな店や観光スポットが住まわさるいて移動しやすいコトも人気のポイントかもねー

バイエリアのカフェ (「トリッポアドバイザー」で大阪市のレストラン第1位)
壁には店を言われた方々の世界各国のお礼がズラ〜ッと!!
中国、台湾、ロシア、ブータン、ボリビア、南アフリカなどにも。
ポーランド

ドイツやイスラエルからは、新婚旅行で来る人が多いよ

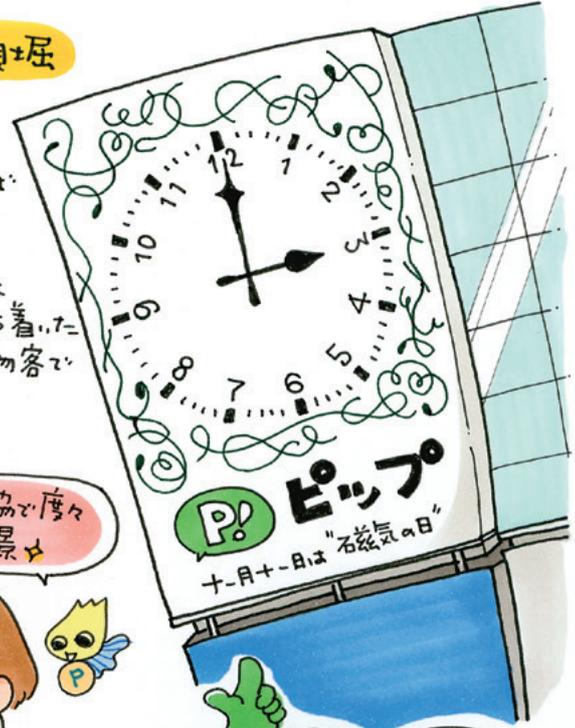
往行頭ハのホームズのような
呼び込みをするお店も!!



**歓迎
光臨**

心齋橋・道頓堀

ミナミの繁華街として
有名な心齋橋・道頓堀
エリア。「ひっかけ橋」とも呼ば
れる戎橋(知恵地)の界隈をはじめ、
外国人観光客で連日にぎわっています。
2015年以降、ドラッグストアが
このエリアに
次々とオープン。一時の勢いは少し落ち着いた
ものの、昼も夜も、世界各地からの買物客で
にぎわっています。



商店街の賑わい度々
見かけた光景

空のスクエスを持参し
見購入した商品を中心に
語る人も…!



P! ピップ
十一月一日は「石炭の日」

百貨店で扱う
商品のうち
売上の伸び率が
一番高いのが
化粧品!!
大阪は特に
好調ですね。



有限会社
日本商業新聞社
代表取締役社長
福瀬 淳一さん

2018年の創業10周年に
先駆け、2017年10月に
道頓堀の看板ビル「ピップ」
ビルをオープンしました。
みなさんの健康なくらしと共に
長い時間を刻んでいきたい
という想いを込めました。

道頓堀に
オーフコした
免税モールも
要注意です。



日本だと
二セモノを買わせる
ことは無いという
安心感があるそうです。

ピップ株式会社
商品開発
事業本部
戦略
マーケティング部
部長
藤木 慎二さん



株式会社
石録新報社
編集部 次長
近藤 一機さん

日本の
日用雑貨・
化粧品業界は、
国内市場に良い
商品を提供し
続けてきました。
だから、
店頭の商品の
素晴らしさに
海外の方々も
注目してくださる
のだからです。

←アジアからの
訪日客の若..層に
「ピップマグネール」が
大人気

アクセスが超便利! ミナミは買食スポットが集中

関西国際空港から電車で約1時間、キタは もちろん、
京都、奈良、姫路にも行きます。好立地!

数多くの高級ブランド路面店、デパート、ドラッグストア、
飲食店、商店街ににぎわう心齋橋、道頓堀、
なんばが、一辺2kmの正方形の中に収まっています!
だから、海外観光客も集中するとう。



海外のお客様は、
日本にしかないモノをお探し
ですので、日本限定商品も
好評です。
売れ筋の商品は、お客様の
ご出身国・地域によって
変わります。

